



The ACM SIGGRAPH, デジタルアーツコミュニティは、2020年のオンライン展示会の開催を発表します。:

DIGITAL POWER: 女性のアクティビズム（行動主義）、アドボカシー（権利擁護）、オンライン上のインフルエンス（影響力）

応募〆切: 2019年12月16日

応募用 EasyChair システムでの投稿開始: 2019年8月1日

キュレーター: Kathy Rae Huffman

詳細情報はこちら: <https://digital-power.siggraph.org/>

“DIGITAL POWER: 女性のアクティビズム（行動主義）、アドボカシー（権利擁護）、オンライン上のインフルエンス（影響力）”では、女性の仕事に焦点を当てます。デジタルアーティスト、ストーリーテラー、デザイナー、ゲーマー、映画/ビデオメーカー、その他の先見性のあるデジタルコンテンツプロバイダーによる展示により、女性を刺激し、力を与え、支援するものです。オンライン展示会のキュレーションは、2015 デジタルアーツコミュニティオンライン展示会「Enhanced Vision: Digital Video」のキュレーターだった Kathy Rae Huffman が担います。“DIGITAL POWER”は ACM SIGGRAPH デジタルアーツコミュニティのプロジェクトであり、2020年7月19-23日にワシントン DC で開催される SIGGRAPH2020 で初演される予定です。

“DIGITAL POWER: 女性のアクティビズム（行動主義）、アドボカシー（権利擁護）、オンライン上のインフルエンス（影響力）”では、女性審査員により作品選出が行われ、女性に捧げられます。女性の声という意味で歴史上重要なこの時期に“DIGITAL POWER”は、女性たちを動機付け、奨励します。包括的、国際的、全世代的、学際的な内容です。

「ジェンダーの平等性、ジェンダーの中立性、女性のアイデンティティ、表現、多様性、達成、共通性を強調する女性の作品群をまとめて紹介するのは、タイムリーでふさわしいものです。“DIGITAL POWER”は実際にフェミニスト理論を検証します。目標は、コンピューター、テクノロジー、アートの分野で働く女性たちを称賛し、声を上げ、叫び、それがどのようなものかをオンラインとデジタルで語ることです。」と Huffman は言います。

作品の応募には以下を含めることができます（ただし、これらに限定されません）。

-デジタルビデオ、デジタル画像、アニメーション

-ウェブサイト、ウェブポータル、ウェブラジオ、ブログ、ビデオブログ、ポッドキャスト

-AR / VR、アニメーション GIF

-携帯電話向けアプリ

-オンラインゲーム、インタラクティブなデザイン、インタラクティブなアートワークの新しい形式

選出されるすべての作品は、女性擁護する問題、女性が直面する課題、女性ができる解決策、女性の素晴らしい成果を称賛するもの、女性コミュニティおよび女性が中心になってデザインの問題を解決している必要があります。“DIGITAL POWER”は、女性または女性と一緒に創造的部分の制作が行われた作品で、女性の関心、視点、歴史、感性に焦点を当てた作品で構成されます。女性とは CIS、トランス、バイ、ゲイ、または非バイナリの女性であり、すべて女性として自己識別される人のことです。

“DIGITAL POWER”は、女性が突出したものや認知されていなかったにも関わらず、何十年もの間、デジタルアートに積極的に取り組んでいたという事実を称賛します。女性の経験は男性の経験とは異なるため、女性の物語やアートワークは女性特有のもので、差異に関する価値判断を下すことなく、デジタルアートという主に男性の領域内において女性の視点に特に焦点を当てると、デジタルアートに対する女性の重要な貢献が明らかになるでしょう。